

(平成21年2月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>2月期の野菜の入荷状況は、生育遅れから前月出荷予定分が今月に集中入荷した品目がある一方、九州や四国等は天候不順により全般的に作柄が悪く、入荷減となった品目が多く見られた。また、比較的入荷状況の安定していた土物類においても、天候不順による品質不良から入荷減となる品目があり、野菜全体の入荷量としては前年同期を4%下回った。</p> <p>価格は、天候不順による品質不良や、前月までの極端な高値に対する反動から、入荷の増減に関わらず単価安で推移した品目が多く見られ、野菜全体としては前年同期を11%下回った。</p> <p>品目別には、長大根、はくさい、ばれいしょが入荷減の単価高、西洋にんじん、きゅうり、ピーマンが入荷減の単価安となった。また、キャベツ、ほうれんそう、レタス、なす、トマトは入荷増の単価安となり、玉葱は入荷減の単価前年並みとなった。</p> <p>根菜類は、入荷が9%減少し、価格は12%安となった。 葉菜類は、入荷が前年並みで、価格は16%安となった。 果菜類は、入荷が3%増加し、価格は12%安となった。 土物類は、入荷が7%減少し、価格は6%安となった。</p>
果 実	<p>2月期の果実の入荷状況は、柑橘類が裏作、いちご類は天候不順などで、多くの品目が入荷減となり、豊作のりんご類についても価格低迷による出荷抑制があり、果実全体の入荷量は前年同期を9%下回った。</p> <p>価格は、りんご類が入荷減ながら単価安となったが、柑橘類、いちご類、メロン類は入荷減によって単価高となり、果実全体としては前年並みとなった。</p> <p>品目別には、みかん、いちご類、アールスメロンが入荷減の単価高、ふじりんご、王林が入荷減の単価安となり、伊予柑は入荷前年並みの単価高、不知火は入荷増の単価安となった。</p> <p>柑橘類は、入荷が9%減少し、価格は11%高となった。 りんご類は、入荷が9%減少し、価格は16%安となった。 いちご類は、入荷が13%減少し、価格は3%高となった。 メロン類は、入荷が30%減少し、価格は9%高となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	<p>徳島県，長崎県を中心に，和歌山県，神奈川県，香川県からの入荷。各産地とも低温等によって生育が遅れ，細物中心の入荷だったことから，入荷量は前年同期を14%下回った。</p> <p>価格は，入荷減から前年同期を3%上回った。</p>
西洋人参	<p>鹿児島県，長崎県を中心に，愛知県，鳥取県，千葉県からの入荷。九州地方は天候不順で作柄が悪く，入荷量は前年同期を10%下回った。</p> <p>価格は，天候不順により品質が悪く，入荷減ながら前年同期を20%下回った。</p>
【葉菜類】	
はくさい	<p>兵庫県，鹿児島県，愛知県を中心に，長崎県，滋賀県からの入荷。主力の鹿児島県が天候不順によって作柄が悪く，全体の入荷量は前年同期を16%下回った。</p> <p>価格は，入荷減により前年同期を14%上回った。</p>
キャベツ	<p>愛知県を中心に，兵庫県，大阪府，滋賀県，和歌山県からの入荷。各産地とも低温等により生育が遅れていた前月出荷予定分が当月へずれ込んだことにより，小玉傾向ながら入荷量は前年同期を7%上回った。</p> <p>価格は，入荷増に加え，小玉傾向での入荷だったことから，前年同期を7%下回った。</p>
ほうれんそう	<p>京都府，徳島県を中心に，茨城県，滋賀県，長崎県からの入荷。主力の京都府，徳島県とも天候不順による不安定な入荷状況だったが，全体の入荷量としては前年同期を3%上回った。</p> <p>価格は，前月の極端な高値に対する反動から単価安で推移し，前年同期を23%下回った。</p>
レタス	<p>兵庫県を中心に，徳島県，長崎県，愛媛県，岡山県からの入荷。各産地とも低温等により生育が遅れていた前月出荷予定分が当月へずれ込んだことにより，入荷量は前年同期を12%上回った。</p> <p>価格は，入荷増に加え，前月までの極端な高値に対する反動から単価安で推移し，前年同期を18%下回った。</p>

<p>【果菜類】 きゅうり</p>	<p>宮崎県，高知県を中心に，愛媛県，滋賀県，徳島県からの入荷。 各産地とも天候不順の影響から不安定な入荷状況となり，全体の入荷量としては前年同期を11%下回った。 価格は，例年は節分に太巻き寿司用の需要があり単価高で推移していたが，本年は不況による消費低迷から単価安となり，さらに中旬に入荷が集中したことから，全体としては前年同月を14%下回った。</p>
<p>なす</p>	<p>高知県を中心に，岡山県，徳島県からの入荷。各産地とも低温等により生育が遅れていた前月出荷予定分が当月へずれ込んだことにより，入荷量は前年同期を26%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を17%下回った。</p>
<p>トマト</p>	<p>熊本県を中心に，福岡県，三重県，佐賀県，京都府からの入荷。 各産地とも低温等により生育が遅れていた前月出荷予定分が当月へずれ込んだことにより，入荷量は前年同期を12%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を4%下回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎県を中心に，高知県，鹿児島県からの入荷。主力の宮崎県では開花期の低温等による着果不良から作柄が悪く，入荷量は前年同期を11%下回った。 価格は，入荷減ながら，前年が単価高で推移したため，前年同期を16%下回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)</p>	<p>北海道を中心に，鹿児島県，長崎県からの入荷。鹿児島県での降雨による収穫遅れと，長崎県産の早期終了により，入荷量は前年同期を12%下回った。 価格は，北海道産の一部に品質不良が見られたことと，入荷減により前年同期を3%上回った。</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>北海道を中心に，兵庫県，静岡県からの入荷。低温等で静岡県新物への移行が遅れたことにより，入荷量は前年同期を6%下回った。 価格は，兵庫県の冷蔵物の一部が品質不良で，入荷減ながら前年並みとなった。</p>
<p>【その他野菜】 生しいたけ</p>	<p>徳島県を中心に，広島県，岡山県，和歌山県からの入荷。 広島県，岡山県での増産以降安定した入荷状況であり，入荷量は前年並みとなった。 価格は，不況により上位等級の需要が低迷し，全体としては前年同期を19%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
みかん	<p>和歌山県を中心に，福岡県，徳島県，香川県，大阪府からの入荷。本年は裏年に当り，入荷量は前年同期を20%下回った。価格は，入荷減により前年同期を17%上回った。</p>
伊予柑	<p>愛媛県を中心に和歌山県からの入荷。本年は裏作に当り，生産量は少ないながら，中央集散機能の発揮により，入荷量は前年並みとなった。価格は，全国的な品薄状況により前年同期を17%上回った。</p>
不知火	<p>和歌山県を中心に，愛媛県，長崎県，佐賀県，福岡県からの入荷。各産地とも作付面積を増加しており，作柄も良好であったことから，入荷量は前年同期を22%上回った。価格は，入荷増により前年同期を9%下回った。</p>
ふじ （サン含む）	<p>青森県を中心に，秋田県，岩手県，山形県からの入荷。各産地とも豊作で出回り量が多く，そのため大幅な価格低迷から出荷抑制を行った結果，入荷量は前年同期を12%下回った。価格は，出荷抑制により入荷減となったものの，全国的な出回り量の多さから，前年同期を16%下回った。</p>
王林	<p>青森県を中心に，岩手県，秋田県からの入荷。各産地とも豊作で，出回り量が多く，大幅な価格低迷から出荷抑制を行い，入荷量は前年同期を5%下回った。価格は，出荷抑制により入荷減となったものの，単価の安い小玉中心での入荷であったことから前年同期を13%下回った。</p>
いちご	<p>熊本県，福岡県を中心に，佐賀県，大分県，長崎県からの入荷。各産地とも入荷状況は，天候不順により不安定で，結果として全体の入荷量としては前年同期を13%下回った。価格は，気温の高かった中旬は入荷が集中して単価安となったが，全体としては前年同期を3%上回った。</p>
アールスメロン	<p>静岡県，宮崎県を中心に，高知県，愛知県からの入荷。各産地とも昨年の加温用重油高騰によって生産意欲が低下しており，作付面積を減少したことから，入荷量は前年同期を37%下回った。価格は，大幅な入荷減によって前年同期を21%上回った。</p>